

# 分苑たより なごみ

大本  
名古屋分苑

## 分苑長 文月 月次祭挨拶

サルートン皆様こんにちは  
キーエルヴィフアルタスご機嫌いかがでしょうか

十八日に梅雨明け宣言がだされ、暑い日差しの中、文月の月次祭に大勢の方達に、ご参拝して頂き誠にありがとうございます。

最初に、皆様にご報告があります。  
お香良洲神社石碑建立の献金ですが、名古屋分苑の割り当て金額の六十万円を越える事ができました。

皆様の、温かい真心を頂き有難うございました。早速、東海教区の会計窓口であります、三河本苑に送金いたします。

先月三十日に教本一級認定講習会を開催いたしました。受講者の方は、十一名で三河より一名、三重より三名の方

達も参加していただきました。また今回より講習日が一日だけと短くなり張り詰めた雰囲気もなく最後の個人発表には妹尾特任にもご意見を頂き、とても良い講習会になりました。

八月月始祭には、受講修了証書をお渡しできるようにいたします。

熱田支部が七月四日に正式に解散となりました。今後は分苑直属扱いになり、とりあえず、堀特任が担当される事になりました。

八月に入れば、宣伝使・昇進者の拝命、真夏の祭典、瑞生大祭が執行されます。同じく直心会バザーも開催され名古屋分苑からも出店されます。直心会バザーには、教主さまも各地域の方達を激励に巡回されますし、売り上げは本部へ献金されます。

今日の大神様にお供えさせ

て頂きました神饌ものですが、スイカは、石原松生様が育てられた物を、直前まで冷やしています。



バナナは、渡邊 町代様が丹精込めて栽培された物です。通常は青色から黄色になれば食べられますが、この品種は黄色からさらに茶色になつてからが食べごろです。



この年この月は、役員改選の時期です、今月三十一日で任期満了となりました、この三年間、皆様方のご協力があり無事に過ごさせて頂きました。

役員の方達にもご苦勞様でした、色々何事にも携わって頂いた方達も有難うございました。

先の六月総代会にて、ご推薦を頂き、役員の方達にももう一期続投の承諾頂きました。

改めて挨拶は、本部より承認頂いてから八月の月次祭でさせて頂きます。

この後、直会後には直心会改選があります。

この時期コロナウイルスが、流行していますが、皆様におかれましては十分に気を付けてお過ごしください。

本日の参拝誠にありがとうございます。ございました。

コーランダンコン

## 行事報告

### ●月始祭

七月六日(土)

参拝者 二十三名

齋主 天野 芳幸

祭員 畠山 茂

進行 石原 松生



### ●月次祭

七月二十一日(日)

参拝者 三十九名

齋主 瓜生 秀明

祭員 近藤 哲史

祭員 日比 達朗

祭員 仙道 志音

裏方 石原 松生

典礼長 影近 博己

伶人 飯田 直美

伶人 佐古 美鈴

伶人 長谷川美枝

進行 伊藤 秀子



●教本一級 認定講習会

六月三十日（日）堀宜雄・妹尾正治講師のもと分苑を会場に開催された。

午前九時からの開講式に続き鎮魂、教本学習（人生の目的）、対話実習を行った。

午後からは「講話の作り方・話し方」を受講、休憩後に全員が「人生の目的、霊界について」をテーマに五分スピーチを発表した。

発表者ごとに講師の総評を頂き、充実した内容となった。最後に練習問題を行い、アンケートを提出して閉講した。参加者十一名

（三河一名、三重三名）



行事予定

八月七日（水）

瑞生大祭遙拝祭

午前十一時より

八月十八日（日）

月次祭 午前十時半より

九月七日（土）

月始祭 午後一時半より

編集部からのお願い

分苑たよりの原稿を広く公募しています。ご神徳談、日々の出来事など、どしどしお寄せください。

より充実した紙面にしたいと思しますので、よろしくお願ひ致します。

じいじの道草雑話

【桜タデ】

妹尾 正治

去年のこと、初夏のあぜ道を散歩していると小さな花が一面ピンクに染めていたので三茎摘んで帰り、花瓶に差し愛でていた。

水揚が良く、一週間ほどすると水中に根っくらしきものが出ていたので試しにプランターに植えておいた。

冬にはすっかり枯れてしまい、『やっぱりだめかー』と諦めていたところ、四月に入り新芽が確認できた。

名前は桜タデ、今年は庭で鑑賞できそうだ・・・

水彩画家、星野富弘さんが七十八才で亡くなった、「筆くわえ詩画家」と呼ばれていた。

星野さんは中学校の教諭だった二十四才の時、クラブ活動の指導中の事故で首から下の身体機能を全て失った。

入院中に送られて来る見舞いの手紙に返事が書きたくて、

口で筆をくわえて文字から練習し、やがて水彩画や詩を創作する様になった。

四季の草花の水彩画に詩を添える画風は国内外で称賛され、多くの個展が開かれた。

出身地の群馬県みどり市と熊本県芦北町に名前を冠した美術館も有り、画集も沢山出版されている。

じいじは星野さんと桜タデから「生きる力・人を和ませる力」と「試練は乗り越えるために有る事」を教わった。

最後に星野さんの数多い作品の中から感動した詩を紹介しよう。

『黒い土に根を張り どぶ水を吸って なぜきれいに咲けるのだろう  
私は大ぜいの人の愛の中にいて  
なぜみにくいことばかり考えるのだろう』



夏の果物 スイカ

スイカは熱中症予防を強力に支援する食べ物であることから、夏の果物の王様と名付けられています。

熱中症予防は、第一に水分を補給することが大切です。スイカは九十パーセント以上が水分で、ミネラルも含まれています。微量の食塩を加えるとスポーツドリンクと同じような効果が期待できるそうです。

スイカに食塩をかけて食べるのは理にかなっているのです。

皆さんもスイカを食べて暑い夏を元気に乗り切りましょう。

